

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「より良い介護」「感動ある介護」を理念として掲げ、地域の方々に認知症への理解を深めてもらえるように交流を深める為に挨拶を心掛け、近隣の清掃・散歩・外出するなどの機会をつくっている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>毎月の各ミーティングおよび委員会活動においても常に入居者様第一に考え、理念の実践ができるように取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族様には運営推進会議・家族会・毎月の便り・近況報告書を通して理解して頂けるようにしている。また地域の方々には地域の会合等に参加し、理解して頂けるように取り組んでいます。</p>	
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>近隣の清掃活動・散歩・買物等によって交流を深め、また、介護相談日を設けたり、AEDの講習も行い、地域の社会資源として活用してもらえるようにしている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会・地域のお祭り等に参加し、民生委員の会合にも参加。地域の一員として協力体制は常に取っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>AEDを設置し、講習も実施。また、高齢者のみならず、地域の子供達のこと考え、こども110番として見守る役目も担っています。その他、民生委員と連携も取り、認知症についての造詣を深めてもらえるように活動している。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>昨年の結果を元に話し合い、より良いケアを目指し現在に満足することなく、改善し続けることの大事さは全職員認識しています。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>きちんとした開催年間計画もあり、2ヶ月に1回開催している。またその中での意見を重要視し、運営方針に掲げ、取り組んでいる。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>神戸市・区の担当窓口とは連携を取り、疑問点・質問等の解消に取り組んでいる。また区主催のネットワーク会議にGH代表として参加し、地域に貢献できるように努めています。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護に関する研修を実施。専門の講師からの講義をもとに職員に理解してもらっているようにしている。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>半年に1回は高齢者虐待防止・身体拘束についての内部研修を実施し、レポートを作成し全職員個々に理解を深めるようにしています。また、接遇態度についても充分注意を払っています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては時間を掛け、十分な説明をし理解をして頂いて同意をもとに締結しています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>認知症状に応じているんな対応をして意見を聞くようにし、運営推進会議においても入居者様代表として意見を聞く機会づくりをしている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月のゆうとぴ庵通信の活用、また個々のご家族様にあわせた連絡方法にて詳細を報告しています。またホーム長の携帯もオープンにしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱の設置、苦情受付票もあり、どんな詳細なことでも意見としてきちんと聞き、説明して理解をしてもらうようにしています。また運営推進会議においても公表するようにしている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>いろんなミーティングでの意見・提案は全て運営者や管理者に通じるようになっており、全職員総意のもとに反映させている。また、運営者に直接話せるようにホットラインも開設している。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務調整はご希望に沿って行えるようにしているとともに、通常勤務シフト以外に2名常時確保しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>全職員のヒアリング調査も実施。業務に邁進できるように心掛けています。職員にプライベートな相談もできる配慮も怠ることなくしている。ゆえに異動・離職はごくわずかである。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今年度は内部研修の充実を目指し、研修の年間計画を立て、きちんと実施しています。また、この内部研修は地域の方も参加できるようになっている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域包括支援センター主催の会議に常に参加し、他の同業者との交流を積極的に行っている。また、地区のGH代表としてネットワーク会議を行政と連携し実施している。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>個別のヒアリングと全職員相談できるようにホットラインがあります。また職員のいろんな変化に気づくようにフロアを巡視しています。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員個々の勤務状況・方向性を把握し、資格助成制度もあり目標をもって勤務できるような環境づくりに努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人のニーズを引き出すように面談を頻回にし、理解を深めてから入居して頂くようにしています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談の初期の段階からホーム長の携帯をオープンにしていつでも相談できるようにしている。また、時間を掛けることを惜しまずに理解して頂けるようにしています。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>最善の方法は入居という概念は持っていない。まずその方が今何を求めているのかによって、他のサービス利用も勧めている。また他のサービスについての詳細な説明も行っています。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居に至るまでに頻回に面談・話し合いを重ね、リロケーションダメージが無いように、また少なくともできるように心掛けています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者様の生活歴から得意とするものを導き出し、職員もそのことについて教えてもらえる場面づくりをしています。人生の先輩として接し、支えあえる関係づくりに努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様への報告・連絡・相談はこまめにし、一緒に支援していける姿勢を持ってケアに従事しています。</p>	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご家族様が訪問された際によく話し合い、双方の関係がより良いものになるように支援しています。また御互いのストレスが出ないように聞き取り調査も怠ることなくしています。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>外出を通じて馴染みの場所を訪問できるようにしたり、個別の対応に努め、GH入居によって関係が断たれない努力は常にしています。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>一人一人の個性を理解し、関係が上手くいくように職員が取り持つようにしています。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居後も必要に応じて相談に乗っています。また逝去された時も葬儀の手伝いや参列は欠かしたことがありません。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者様個別に傾聴し、充分理解した上でケアしています。また個々の認知症状に応じた把握に努めています。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>インテーク時になるべく詳細な事が聞けるようにしているのと、ご本人を取り巻く種々の方々から情報を入手し、ケアしています。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>個別ケアを中心として考え方をし、その人らしくを常に意識するようにしています。</p>	
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプラン会議は定期的実施。あくまで入居者様本意に則したケアプランを目指し、いろんな方々から情報を得て反映しています。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケアプランの見直しは3ヶ月に1回実施。あくまで現状を考え、ケアプランが形骸化しないようにしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護経過記録はもちろんのこと、その方に合わせているような手法を用い、個別の記録を取り、実践しています。</p>	
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療体制の充実を図る意味でも通院の送迎・介助は職員が行い、入居者様・ご家族様の希望に沿った外出も柔軟にしています。その為にもホーム長の携帯をオープンにしている。</p>	
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地区の民生委員は運営推進会議のメンバーであり、消防ともAED講習に際して協力して頂いたり、学校とも連携し、福祉の増進に努めています。外部のいろんな機関を通じて物事をすすめていき、ネットワークを広げ、体制強化出来るようにしています。</p>	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>常に他のサービス事業者との意見交換が出来るように事業所連絡会等に参加しています。もちろん必要とされる場合、その体制は整っています。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議・地区の連絡会において活発な意見交換ができるようになった。一層努力して協働していける体制はあります。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様・ご家族様が希望されれば、以前からのかかりつけ医に受診しています。その際の通院介助もし、受診結果の報告はご家族様にきちんと報告している。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医が専門的知識あり、相談できる体制です。ご家族様にも個別に主治医から連絡・相談等ができる関係がある。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>主治医である医療機関の看護師が訪問。また、必要に応じて訪問看護ステーションとも契約しており、いつでも支援を受けられる体制はある。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院された場合はご家族様・病院との連携を密にし、職員も頻繁に御見舞いに行き、リロケーションダメージを軽減できる最大限の努力をしています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所時から話し合いを持ち、ご本人様・ご家族様の意向を聞くようにしています。また段階に応じて主治医との話し合いをし、また職員・ご家族様とも共通認識を持てるようにしています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>入居者様・ご家族様が納得できるように支援する体制づくりとして主治医、職員がチームケアに努めている。身体的レベルに応じてとにかく密に話し合える機会を持って対応しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入居時には馴染みのものを持って来てもらう様にしています。またご本人様の詳細な情報をもとに住み替え時にストレスなど負担にならないようにしています。</p>	
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者様の守秘義務があることは日頃から職員にも話していただきみんなきちんとした認識を持っている。また接遇態度についても研修などを通じ、常に注意を払っています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者様の精神・身体的状況に応じて、工夫を凝らし選択の機会・自己決定の機会を多くするようにしています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>あくまで入居者様主体のケアを実践しています。業務優先にならないように注意をし、一場面一場面を大切に個別ケアに専念しています。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人の希望があれば、理容・美容は馴染みのお店に行くようにしています。また、その方の個性を尊重し一緒に衣料品の買物に行くなどその人らしいおしゃれができるように支援しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様の状況に応じて調理・味見・配膳・片付けなど共に参加して頂けるように支援しています。また食事レクなども頻繁に行っている。</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一緒に買物に行き、個別の好みに合わせて選択できるように支援し、画一的な提供にならないように努めている。またお酒・たばこも健康上のことを踏まえ、楽しんで頂いています。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄パターンの理解に努め、おむつの使用は出来るだけ避け、失敗がないように誘導し、気持ちよく排泄できるようにしています。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日・入浴時間は限定せず、その方に合わせられるように支援しています。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>入居者様の生活パターンを理解し、押し付けのケアはしない。きちんと眠れるように日中は活動的にいろんな事をしてもらい昼夜逆転にならないようにしています。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個人別の生活歴を熟知し、暮らしの中での役割を担ってもらうようにしています。また外出・行事・園芸・ゲームなどのレクリエーションを通じて気晴らしして頂けるように支援しています。</p>	


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様個人の管理能力に合わせ、お小遣いを管理して頂いています。I A D L の維持・向上に努めております。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>スケジュールに合わせた外出ではなく、その場面に応じて対応しています。たとえば近隣の喫茶店に行ってみたりしています。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>施設的な内部にこもらないように心掛けています。入居者様・ご家族様の希望を出来るだけ、応えるようにしています。通常の常勤職員より2名多い体制作りによってこういったことを可能にしています。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>各ユニットに電話が設置してありますので、自由にかけられるようになっています。また、ご家族様・知人・友人より気軽に電話してこれる体制です。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>面会時間をあえて設けず、いつでも気軽に来れるように制約はありません。また面会時には入居者様のご様子を含め、いろんな情報を伝達できるように支援しています。</p>	
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルもあり、また研修などを通じて運営者・全職員が正しい知識を備えている。過去において身体拘束はしたことがないし、今後も絶対にしないことを前提にケアに従事しております。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>外部からの不審者防止の意味も含め、施錠している場合が多い。</p>	<p>建物の構造上、かなり難しい問題と認識しております。将来的な課題のひとつとして改善していけたらと思っています。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>見守り体制はきちんとできています。夜間巡視は2時間おきですが、その時に応じて時間で区切らずに対応しています。但し、プライバシーには充分配慮しています。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>あくまで生活する場であるという認識はありますので、排除することは最後の手段であると思っています。お家にいるように過ごして頂くので、生活感がなくてはなりません。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>危機管理委員会活動も活発にしており、ヒヤリハットの実践および検討会を重ね、事故防止は最大のテーマであると考えています。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>全職員にAEDの講習および市民救命救急士の講習参加を呼びかけ、現在順をおって参加しています。また主治医の指導のもとに日頃から行っています。</p>	
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防訓練は年2回実施。職員の災害に対する意識付けはできている。また、地域の方々には日頃の啓発・広報活動により、高齢者施設であることを理解して頂いています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>精神的・身体的状況の変化は常にご家族様に報告しており、協議が必要な場合は主治医を交えてお話しをし、解決策を講じています。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>情報共有は連絡ノートを利用し、職員もきちんと把握していける体制はある。また、少しの変化も見逃さないように徹底的に教育しています。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の内容に関しては日頃から学んでおり、いつでも主治医に相談できる体制です。また研修を通じて服薬管理については充分注意しています。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックはきちんと行い、個人別に把握できるようにしています。自然な排便ができるように運動・水分摂取量にも注意しています。薬に頼らないように心掛けています。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>口腔ケアは本年度のケアにおける最大のテーマとして位置づけ、外部・内部研修を重ね、清潔保持に努めている。また、週1回訪問歯科の歯科衛生士による指導・フォローも受けている。口腔体操も実施。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分摂取量は記録し、入居者様の状態に応じて形状も変え、楽しんで食べて頂けるように支援しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>		
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのものを居室に持ち込んで頂き、また入居者様・ご家族様の希望を取り入れ、個性的なもので落ち着ける空間づくりをしています。ベッド・畳どちらでも対応可能です。</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>換気・室温については充分注意しています。高齢者にとって大事な事であり、職員もきちんとした認識をもとにケアしています。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>危険箇所に目印をつけたり、段差解消の為スロープを設置するなどの工夫をしています。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>場所を把握できる誘導テープや手作りの看板等で混乱のないように暮らして頂けるように工夫をしている。</p>	
87	<p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>裏庭に花壇があり、四季の花を育てたり、また野菜作りもし、入居者様の残存機能を活かした支援をしています。またベランダでもプランターを利用しているものを育てています。</p>	

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ゆうとび庵 西神戸は「より良い介護」「感動ある介護」を理念に掲げ、現在まで8年間ケアに従事して来ました。入居者様・ご家族様・地域の方々に信頼されるように運営の透明化を図り、常に改善し続けることを目標に邁進してきました。開所当時の職員も多く、離職率も低いです。その為、長く同じ職員にあってもらえると好評です。現在研修の充実を図るべく、毎月いろんなテーマで実施しています。この研修には外部の方も参加できるようになっています。医療体制も充実しており、主治医とはいつでも連絡が取れ、直接相談ができる体制です。社宅改装型ですが、落ち着いた雰囲気の中で過ごせます。「我が家」のように長く暮らして頂けるように職員一丸となってケアに従事しております。また、入居を目的としたものでなく、地域資源として活用して頂けるように認知症高齢者に関わるいろんな活動を行っています。一度入居者様がどのように過ごされているか見学に来て下さい。いつでもお待ちしております。